

SOLUTION BRIEF

CA PROJECT AND PORTFOLIO MANAGEMENT

CA Project and Portfolio Management (CA PPM) による 確実性の確保

ポートフォリオの戦略から実行までの価値の理解

概要

課題

現在のアプリケーション・エコノミーで企業が競争力を確保するには、次善策を用意したスピード・トゥ・マーケットは不可欠です。それでは、次善策がビジネスに最適かどうかは、どうしたらわかるのでしょうか。次善策やプロジェクトが戦略的ビジョンに整合しているか、どうすればわかるのでしょうか。投資回収率はどうですか。また、どのくらいの期間で回収できますか。リソースはどうですか。そのプロジェクトの実行に必要な人材とコストはどうですか。プロジェクトにはどのようなリスクがあって、それらをどのように管理しますか。また、他の実行中のプロジェクトやパイプラインのプロジェクトに対して、そのプロジェクトの優先度はどうですか。

これらは新しいイニシアチブを開始する前に答えが必要な基本的な質問ですが、これらに自信を持って答えることができるほど、プロジェクト & ポートフォリオ管理が成熟している組織はほとんどありません。

多くの企業にとってその原因は、洞察がさまざまな業務チームとデータのサイロに隠されていることにあります。イニシアチブは主観的なデータや発言権のあるエグゼクティブの意見に基づいて選択され、求められるビジネスの成果に対して作業を追跡したり測定することはほとんどありません。

ビジネス・チャンス

企業のポートフォリオの意思決定が改善し、限りあるリソースを適切に投資して、市場において適時に適切な対応が可能になり、最小のリスクで投資回収を最大化できたらどうしますか。CA Project & Portfolio Management (CA PPM) では、以下が可能になります。

メリット

CA PPM を使用すると、戦略的意思決定をよりの確かつ迅速に行えます。必要以上にコストのかかるプロジェクトを取りやめ、ビジネスニーズに適合しないサービスを停止し、冗長または使用が不十分なアプリケーションのコストとリソースを新しいアイデアに割り当てることができます。また、顧客ニーズに最適な革新を理解して、即座に対応する体制を整えることができます。これが確実性を確保するということです。また、それによって、組織を革新のエンジンとして、ビジネスを前進させることができます。

セクション 1:

課題

近年、エグゼクティブが適切な戦略的意思決定に必要とする、投資ポートフォリオを完全に可視化することはほとんど不可能になっています。これは、マネージャは統合されていない別々のシステムを使用して、非効率なプロセスで進捗を追跡してレポートを作成しているため、適切な洞察が得られないことが原因です。そのため、多くの場合、リアルタイムのメトリクス、使用可能な資金またはリソースの制限ではなく、直感による選択をせざるを得なくなります。また、アプリケーションの合理化、新しい資本投資、デジタル・トランスフォーメーションなどの先進的なビジネス・プランは、現実的なデリバリのシナリオに書き換えることができません。その結果、これらの優先度に合わせて作業チームを割り当てることができず、目標のビジネス成果と戦略的メリットを達成できません。

このような統合、可視化、整合性の不足によって、以下が課題となっています。

現在の投資内容の把握

将来の成功には、現在の投資に対する知識が不可欠です。プロジェクトからアプリケーション・ポートフォリオに至るまで、投資をすべて網羅したインベントリがなければ、それらの変革は開始できません。多くの組織では、プロジェクトと時間の投資が重複しているため、管理が複雑になりすぎ、価値の定量化となると、さらに難しくなります。

リソースの把握

多くのチームは現在リソースが何に従事しているのか、将来的なスケジュールがどうなっているのかを正確に把握していません。そのため、需要とキャパシティを一致させること、つまり、単に維持するだけで、拡張することができません。管理がうまくできなければ、新たな革新やビジネス・イニシアチブに割り当てるリソースを確保することができません。

将来の投資対象の決定

ビジネスにとって最も価値のある革新と、ビジネスを阻害するだけの革新を見極めることが難しくなります。また、革新に集中できないため、適切なイニシアチブを選択できません。ビジネスに必要な改善、または顧客が必要な製品を特定するのに多くの労力が必要です。顧客からの直接的なインプットや新しいイニシアチブに対する明確な計画がなければ、革新は失敗に終わる危険性があります。

セクション 2:

ビジネス・チャンス

洞察を簡単に入手して、投資計画を改善し、迅速に結果を出せたらどうでしょう。投資、プロジェクト、製品、サービス、リソースを含むポートフォリオ全般に対する洞察があれば、作業を効率化して組織の生産性を向上できます。コストやステータスを完全に把握して、投資、イニシアチブ、リソースを包括的に確認することができます。ビジネスの優先度と整合し、適切に実行されている投資やプロジェクトを識別することができます。そして何よりも重要なのは、効果が得られていない投資や、他のビジネス・イニシアチブに振り替えた方が効率的なリソースを識別できることです。

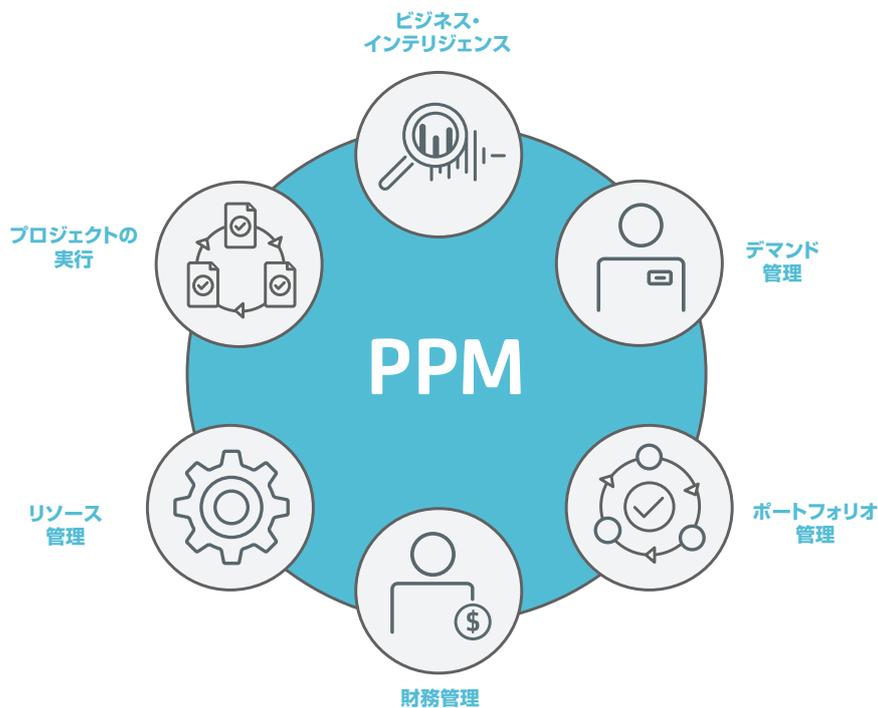
変化のスピードは速いので、迅速に機会をとらえて把握し、計画して、優先度を決定することは競争力強化につながります。単なる「維持管理」に留まらない能力を発揮することで、機会に合わせたキャパシティの特定と拡張が可能になります。インテリジェントなリソース活用、要件の明確な理解、戦略的ポートフォリオの目標への整合によって、新しい製品やサービスを早期に商品化することができます。その結果、組織を変革して、これまで不可能だった方法で成長させることができます。

CA PPM ソリューションによって以下が可能になります。

- IT、財務、人材、研究開発、営業、マーケティングなどのあらゆる部門で、戦略的ポートフォリオ・プランの作成と管理を行う。
- ハイテク、ヘルスケア、金融サービス、公共部門など、あらゆる業界に新しい製品やサービスを提供する。
- ベスト・プラクティスとガバナンスでプロジェクトを管理し、ユーザの期待どおりの作業スタイルを採用する。
- 従来の開発手法とアジャイル開発の両方のプロジェクトを実行する。
- ニーズ、リソース、資金に対する洞察を得て、変更が必要な場所と時間を把握する。

組織は通常、この種の情報やデータの管理にニッチ・ソフトウェア・ソリューションや、自社開発アプリケーションを使用しようとします。多くの場合、この種のツールはサイロ化されており、統合機能がなく、データの蓄積に多大な手間を要します。この方法を採用した組織は、単一のソリューションを意思決定エンジンとして使用して作業を効率化し、革新を加速する機会を逃してしまいます。リスクを最小化し、革新を加速する CA PPM ソリューションに対するニーズは、市場の変化によってますます高まっています。

図 1CA PPM ソ
 リューションのコン
 ポーネント



セクション 3:

機能

ポートフォリオに関する的確な意思決定：ポートフォリオ管理

CA PPM では、戦略的な投資を企業目標と整合させるために必要なツールをすべて確保できるので、限られたリソースによる投資回収率が最大化されます。戦略的なエンタープライズ・ポートフォリオを作成して、長期的な目標達成、トップダウン式のプランニング活用、what-if シナリオのモデリング、ビジネス・ケースやプロポーザルの作成、需要予測を行うことができます。

また、投資対効果や損益分岐点分析など、ユーザ独自のメトリクスを使用して、投資計画の作成、優先順位付け、評価を簡単に実施できます。CA PPM では将来予測に不可欠な総合的なツールやレポートが提供されるため、投資の組み合わせ、プロジェクトの選択とそのタイミング、実行性、ソーシング、パフォーマンス、予想される成果など、ポートフォリオに関する意思決定を的確に行えます。

リソース最適化：リソース管理

CA PPM を使用すると、最も貴重な資産である人材を有効活用できます。ビジネスのスピードアップと戦略的な需要に応じたリソース・キャパシティのバランス調整のためには、現在進行中および予定されている全プロジェクトについて、リソースの割り振りや可用性をリアルタイムで把握し、需要の変化に合わせてすぐにリソースを移行できなければなりません。

プロジェクトまたはリソース・マネージャはプロジェクトの履歴から経験豊富なリソースを特定し、対応できるリソースの中で最も優れた人材をベースに、プロジェクトの計画を立てることができます。また、プロジェクトに参加していないメンバの可用性を確認して、タスクを直接割り当てることができます。CA PPM では、部署、地域、プロジェクト・タイプ、リソースの役割またはスキルセット固有の作業も効率化できます。

投資の整合と優先度決定：財務管理

CA PPM では、ERP システムや財務ツールとのインタフェースだけでなく、長期的な予測管理機能と、短期的なコストおよび予算計画の機能も提供されます。資本計上された支出は費用から切り離し、プロジェクト・コストを事業部門や部署全体に均一に配分することで適切なレポーティングやコンプライアンスが実現します。

長期的な予測には予想される役割のコスト予測も含まれ、計画の実施中に修正できます。適切なタイミングで財務上の判断を行うのに必要な可視化と機会が提供されるため、プロジェクトで成果を達成できます。CA PPM ではポートフォリオ全体の財務状況を表示できるため、意思決定エンジンとして活用して戦略的目標に投資を整合させ、優先度を決定することができます。

予算の予測と管理：コスト管理

プロジェクトのトランザクションがどこで発生しても、CA PPM はコストをキャプチャして記録し、予定していた予算に対してプロジェクトごとのコストを更新します。CA PPM には、主要プロジェクトの収益性の計画、追跡、および分析に必要なすべてのツールが揃っています。プロジェクトマネージャは労働力、費用、材料、機器などの分類を含めた概要または詳細レベルで予算の策定と予測の更新が行えます。

プロジェクトの進捗に合わせて、合計額と見積によって予測が更新されるため、マネージャはプロジェクトの進捗度を確認しながら財務分析とチャージバックの割り当てを行えます。プロジェクト・マネージャはリアルタイムで全プロジェクトの状況およびコストを管理し、それらが計画どおりで予算どおりであるかどうかを確認し、影響の最も大きい部分に注力して会計を管理できます。

完璧なプロジェクトの遂行：プロジェクト管理

CA PPM ではエンタープライズ・プログラムやプロジェクト・プランニング、見積、予算、リソース割り当て、コラボレーション、工数計測など、プロジェクト遂行に必要なあらゆるツールが提供されるため、プロジェクトを効率的かつスムーズに進行させることができます。

CA PPM は、最も基本的なレベルから最も高度なレベルまで、あらゆるレベルのプロジェクト・プランニングをサポートします。プロジェクト・マネージャはマウスを数回クリックするだけで、コラボレーション用や主要なタスクおよびマイルストーンの追跡用の基本的な計画を作成することも、複雑なプロジェクトに必要な情報をすべて収集するための詳細な計画を作成することもできます。すべてのプロジェクト要件、リソース、およびコスト計算作業は完全に統合されているので、プロジェクトのライフサイクル全体を通じてシームレスに管理できます。

プロジェクト・マネージャは計画をゼロから作る必要はありません。事前定義済みのテンプレートを基に、PMBOK や PRINCE2 などの技法で計画を立てることができます。

迅速なプロジェクト遂行：アジャイル開発の理解

CAPPIM では、アジャイル開発チーム固有のプロジェクトおよびリソース管理のニーズに対応できます。顧客はアジャイル開発の成果物、コスト、リソースを完全に可視化できるため、十分な情報に基づいてアジャイル・チームへのリソース割り当てを決定することができます。

CA PPM を使用すると、チーム・コラボレーションがシンプルになります。CA Agile Central (旧 Rally Software™) やサードパーティのシステムなど、アジャイルのライフサイクル管理ソリューションと統合すると、チームの記録用システムで情報を交換できるため、チーム・メンバはユーザの事例や最新のステータスに関する情報を大量の E メールを検索せずに検出できます。

CA PPM では、アジャイル・プロジェクト、原価計算、成果物、リソース割り当ての正確な全体像が提供されます。また、アジャイル・プロジェクトと従来のプロジェクトにエンタープライズの可視性が提供されるだけでなく、業界で最も完全な実績あるプロジェクト & ポートフォリオ管理ソリューションが提供されます。

アプリケーションの価値の最大化：アプリケーション・ポートフォリオ管理

時間の経過と共に、企業は各種のアプリケーションを導入しますが、その中には冗長なものや、十分に活用されていないもの、陳腐化してしまったものがあります。中には企業の戦略的なプラットフォームに沿っていない、またはポリシーへのコンプライアンスが確保できていないものもあります。あるいはビジネス・プロセスを複雑化しているものもあります。この種のアプリケーションのガバナンス不足によって、ビジネスのスピードダウンや IT コストの増大を招いてしまいます。

CA PPM では、アプリケーションの完全なインベントリを作成できます。また、各アプリケーションのリスク、ビジネス価値、コスト、クラウドの適切性、技術の状態に関する詳細なデータが提供されるため、ポートフォリオのアプリケーションの将来について合理的に意思決定できます。たとえば、更新や拡張の必要なアプリケーションや、冗長性を把握できます。

CA PPM には、一連の事前定義済みフォーム、コンテンツ、設定が含まれており、顧客はサーベイを使用してリスク、ビジネス上の価値、財務情報、クラウドへの適合性、技術的相性、その他の要因を分析することで、アプリケーション・ポートフォリオの合理化を進めることができます。その情報はダッシュボード上に表示できるため、ポートフォリオに関する事実に基づいた意思決定が行えます。アプリケーションの廃棄、アウトソーシング、クラウドベースへの移行によって、リソースや予算の効率を高めることができます。

エグゼクティブへの成果の報告：ダッシュボードとレポート

CA PPM を使用すると、ビジネス・リーダーは投資パフォーマンス、プロジェクト・ステータス、リソース使用率、プログラムの価値や収益性に関する洞察を得ることができます。可視化とインタラクティブなダッシュボードによって、重要な意思決定に必要な情報が提供されるため、意思決定者は情報を分析して what-if シナリオを査定できます。

また、CA PPM のレポート作成機能では、顧客固有のレポートを追加して、即座に実行したり、スケジュールを設定できます。レポートをリアルタイムで実行および表示して、PDF、Rich Text Format (RTF)、Microsoft Word® または Excel® で保存することができます。この機能は重要なデータの記録、定期的なレポート作成、結果のバックアップ用に提供されています。

ダッシュボードの視覚的でインタラクティブなデータ分析機能を使用して、詳細な洞察が得られます。また、PowerPoint プレゼンテーション、Word 文書など、CA PPM 以外のソリューションで CA PPM のデータをリアルタイムで表示できます。構成可能なダッシュボードでは、各ユーザがそれぞれの好みに合わせてダッシュボードを作成して管理でき、他のユーザとの情報交換や共有も可能です。

セクション 4:

メリット

確実な前進

CA PPM では、投資ポートフォリオを分析して、データから投資の状態を確認できます。また、プロジェクトとリソースをビジネス戦略に整合させて投資を計画できます。プロジェクト、製品およびアプリケーションの継続的な評価と進化が可能のため、不安になることはありません。

十分なパフォーマンスが達成できていないプロジェクト、価値の低い投資、不要なコスト、十分に活用できていないリソースを特定できるため、変革のための機会が生まれます。プロセスの合理化、効率向上、コスト削減によって、企業や顧客に対して優位性を証明することができます。また、顧客ニーズを明確に把握できるため、キャパシティを増加および活用して、革新によってビジネスを推進できます。

CA Technologies のメリット

CA TechnologiesのCA PPMソリューションは、プロジェクト&ポートフォリオ管理ソリューションの業界標準です。CAは数十年もの間、当社のベストプラクティスを活用して、顧客のデプロイの簡略化、価値実現のスピードアップ、リスク軽減を実現してきた実績があります。業界をリードするグローバル・サポート、世界レベルのユーザ教育、トレーニング・ツールの標準装備によって、トレーニングに要する時間は半減し、サポート・スタッフの負担は軽減され、ユーザによる採用は拡大します。ERPシステム、HRおよびユーザ管理システムへの統合に加え、CA Agile Central やサードパーティの多様なビジネス・アプリケーションにアプリケーション・ライフサイクル管理を統合できます。さらに重要なのは、数千のCA PPM ユーザが参加するグローバル・コミュニティに加わり、アイデアの共有、ロードマップのコラボレーション、製品デモの閲覧やベスト・プラクティスの情報交換が行えるという点です。また、SaaS、ホステッド、従来のオンプレミスといった各種デリバリー・オプションによって、最適なアプローチを選択することができます。

CA PPM を使用して、全社規模でポートフォリオを確実に管理する方法の詳細については、ca.com/jp/ppm をご覧ください。



ca.com/jp/でCA Technologiesにアクセスしてください。



CA Technologies (NASDAQ : CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを作成し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。詳細については ca.com/jp/ をご覧ください。